

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

# 東京都感染症週報

2018年第38週  
(9月17日～9月23日)

- \* 2018年9月26日現在の情報により作成しています。  
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。  
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- \* 今週は感染症豆知識「性感染症(STI)の世界の状況(梅毒を中心に)」も掲載しています。

平成30(2018)年9月27日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター  
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213(直通)  
FAX：03-5332-7365  
e-mail：www@tokyo-eiken.go.jp

# 定点把握対象疾患 報告数 2018年38週

上段: 報告数  
下段: 定点当たり

定点種別	対象疾患	2018年				報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		35週	36週	37週	38週		
小児科	RSウイルス感染症	509	544	549	362	258	264
		2.00	2.08	2.12	1.40		
	咽頭結膜熱	68	63	75	50		
		0.27	0.24	0.29	0.19		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	324	401	387	341		
		1.28	1.54	1.49	1.32		
	感染性胃腸炎	911	1,114	1,009	902		
		3.59	4.27	3.90	3.50		
	水痘	45	57	41	54		
		0.18	0.22	0.16	0.21		
	手足口病	229	298	348	321		
		0.90	1.14	1.34	1.24		
	伝染性紅斑	260	277	255	219		
		1.02	1.06	0.98	0.85		
突発性発しん	134	145	125	126			
	0.53	0.56	0.48	0.49			
ヘルパンギーナ	379	311	261	163			
	1.49	1.19	1.01	0.63			
流行性耳下腺炎	29	28	34	28			
	0.11	0.11	0.13	0.11			
川崎病 <sup>*1</sup>	8	5	6	2			
	0.03	0.02	0.02	0.01			
不明発しん症 <sup>*1</sup>	42	51	38	25			
	0.17	0.20	0.15	0.10			
インフル エンザ	インフルエンザ <sup>*2</sup>	10	34	87	79	410	419
		0.02	0.08	0.21	0.19		
眼科	急性出血性結膜炎					38	39
	流行性角結膜炎	36	30	30	9		
		0.95	0.81	0.79	0.24		
基幹	細菌性髄膜炎 <sup>*3</sup>	1				25	25
		0.04					
	無菌性髄膜炎			1	3		
				0.04	0.12		
	マイコプラズマ肺炎	6	6	1	6		
		0.24	0.24	0.04	0.24		
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	1						
	0.04						
感染性胃腸炎(ロタウイルス) <sup>*4</sup>							
インフルエンザ入院				1			
				0.04			

2018/9/26集計

\*1 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

\*2 鳥インフルエンザを除く。

\*3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

\*4 病原体がロタウイルスであるものに限る。

\* 百日咳は2018年1月1日より五類(定点把握対象)から五類(全数把握対象)に変更

## ( 今週の注目される定点把握対象疾患 )

- ・ 伝染性紅斑は比較的高いレベルが続いています。
- ・ RSウイルス感染症、手足口病は一部、定点報告数の高い地域が見られます。

## 定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2018年38週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
～5か月	41			14		1	1	3	1		
6～11か月	84	5	2	74	2	39	1	27	21		1
1歳	147	16	20	127	4	91	8	72	39		
2歳	55	9	24	87	2	62	24	15	35	2	1
3歳	18	6	23	80	4	42	33	5	24	4	
4歳	13	3	34	91	6	31	37	1	5	6	
5歳	1	6	47	67	4	22	47	3	9	6	
6歳	1	1	49	43	8	11	27		10	3	
7歳	1		32	43	9	8	11		3		
8歳	1		21	42	8	3	14		4		
9歳		2	14	29	3	3	10		6		
10～14歳		1	36	84	2	4	4		4	5	
15～19歳			4	22					1	1	
20～29歳		1	35	99	2	4	2		1	1	
30～39歳											
40～49歳											
50～59歳											
60～69歳											
70～79歳											
80歳以上											
合計	362	50	341	902	54	321	219	126	163	28	2
先週比	-187	-25	-46	-107	13	-27	-36	1	-98	-6	-4

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	小児科	インフルエンザ	眼科		基幹					
	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出 血性結 膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジ ア肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
～5か月				1		2				
6～11か月	6	1								
1歳	12	1					1			
2歳	4	1					1			
3歳		6								
4歳	1	2					1			
5歳		1								
6歳		10								
7歳		4								
8歳	1	3								
9歳		3								
10～14歳		7		1			2			
15～19歳		9								
20～29歳	1	2		1		1				
30～39歳		15		3			1			
40～49歳		7		1						
50～59歳		5								
60～69歳		1								
70～79歳		1		2						
80歳以上										1
合計	25	79		9		3	6			1
先週比	-13	-8		-21		2	5			1

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数【保健所別】 2018年38週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
千代田	0.67							1.00	0.33		
中央区	0.67	0.33	1.33	8.67		5.00	1.00	0.67	0.33	0.33	
みなと	2.50	0.67	1.00	2.33		1.50	0.67	0.33	0.33		
新宿区	2.50	0.13	1.38	3.75	0.13	1.50	0.25	0.13			
文京	1.25		0.25	2.00		0.25	0.75	1.25	0.75	0.50	
台東	1.25	0.25	0.25	3.25	0.50	5.00	1.00	1.25	2.25	0.50	
墨田区	0.20			1.60		0.80	0.80	0.40	0.20		
江東区	0.89	0.33	0.33	5.56	0.22	1.33	1.00	0.44	0.22		
品川区	1.25	0.13	0.25	2.75		0.75	1.00	0.25	0.75		
目黒区	2.60	0.20	1.00	5.20	0.20	1.20	0.20	0.20	0.60	0.20	
大田区	1.69	0.31	1.23	6.77	0.15	0.62	0.31	0.31	1.46	0.08	
世田谷	1.75	0.25	1.31	3.63		1.06	1.25	0.44	0.50	0.06	
渋谷区	0.33		1.00	4.67		0.33	0.33	1.00			
中野区	1.83	0.17	2.00	3.67	0.33	1.50	1.00	0.33	0.67		
杉並	1.09	0.18	1.36	2.73		1.27	0.09	0.64	0.64	0.09	
池袋	2.75		0.50	2.50		0.75	1.00				
北区	0.71		0.86	2.57	0.29	1.86	1.14	0.86	0.57	0.14	
荒川区	4.00	0.50	3.25	1.50		2.50	0.25	1.00	0.50		
板橋区	0.70	0.20	0.30	1.40	0.20	1.50	1.60	0.20	0.20	0.10	
練馬区	1.25	0.25	3.00	2.58	0.42	2.33	1.00	0.58	1.67	0.25	
足立	2.38		1.00	2.92	0.46	1.62	0.31	0.46	0.46	0.08	
葛飾区	1.00	0.13	1.38	3.25	1.50	1.25	0.25	0.75	0.38		
江戸川	0.58	0.50	1.75	4.42	0.08	1.33	0.67	0.17	0.08	0.50	0.08
八王子市	2.09		2.00	9.18	0.27	0.91	0.91	0.55	0.64	0.09	
町田市	0.63		2.50	5.50	0.25	1.25	1.25	0.63	0.75	0.13	
西多摩	0.25		0.63	1.75		0.13	0.38	0.13	0.13		
南多摩	1.67	0.22	1.89	2.00		0.78	0.78	0.44	0.44		
多摩立川	1.14	0.07	1.64	2.14	0.07	0.64	1.43	0.14	0.93	0.14	
多摩府中	0.94	0.33	1.28	2.50	0.28	1.28	0.61	1.00	0.61	0.11	
多摩小平	1.93	0.27	1.73	3.00	0.33	0.73	2.20	0.47	1.13	0.07	0.07
島しょ											
東京都	1.40	0.19	1.32	3.50	0.21	1.24	0.85	0.49	0.63	0.11	0.01

	小児科	インフルエンザ	眼科		基幹					
	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
千代田										
中央区				2.00						
みなと										
新宿区	0.25	0.08				0.50	0.50			
文京				2.00						
台東		2.86								
墨田区	0.60						1.00			
江東区				1.00						
品川区		0.25								
目黒区										
大田区		0.29								
世田谷	0.25	0.28				0.50				0.50
渋谷区							2.00			
中野区										
杉並	0.18									
池袋		0.14								
北区		0.18								
荒川区		0.14		1.00						
板橋区	0.30	0.75		0.50						
練馬区				0.50						
足立		0.40		0.50						
葛飾区	0.25	0.31								
江戸川	0.08	0.26								
八王子市	0.09	0.06								
町田市	0.25									
西多摩										
南多摩		0.57								
多摩立川	0.14									
多摩府中	0.06						0.67			
多摩小平	0.13					0.50				
島しょ										

東京都	0.10	0.19		0.24		0.12	0.24			0.04
-----	------	------	--	------	--	------	------	--	--	------

# 定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2018年38週

	小児科										
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
千代田	2							3	1		
中央区	2	1	4	26		15	3	2	1	1	
みなと	15	4	6	14		9	4	2	2		
新宿区	20	1	11	30	1	12	2	1			
文京	5		1	8		1	3	5	3	2	
台東	5	1	1	13	2	20	4	5	9	2	
墨田区	1			8		4	4	2	1		
江東区	8	3	3	50	2	12	9	4	2		
品川区	10	1	2	22		6	8	2	6		
目黒区	13	1	5	26	1	6	1	1	3	1	
大田区	22	4	16	88	2	8	4	4	19	1	
世田谷	28	4	21	58		17	20	7	8	1	
渋谷区	1		3	14		1	1	3			
中野区	11	1	12	22	2	9	6	2	4		
杉並	12	2	15	30		14	1	7	7	1	
池袋	11		2	10		3	4				
北区	5		6	18	2	13	8	6	4	1	
荒川区	16	2	13	6		10	1	4	2		
板橋区	7	2	3	14	2	15	16	2	2	1	
練馬区	15	3	36	31	5	28	12	7	20	3	
足立	31		13	38	6	21	4	6	6	1	
葛飾区	8	1	11	26	12	10	2	6	3		
江戸川	7	6	21	53	1	16	8	2	1	6	1
八王子市	23		22	101	3	10	10	6	7	1	
町田市	5		20	44	2	10	10	5	6	1	
西多摩	2		5	14		1	3	1	1		
南多摩	15	2	17	18		7	7	4	4		
多摩立川	16	1	23	30	1	9	20	2	13	2	
多摩府中	17	6	23	45	5	23	11	18	11	2	
多摩小平	29	4	26	45	5	11	33	7	17	1	1
島しょ											
東京都合計	362	50	341	902	54	321	219	126	163	28	2

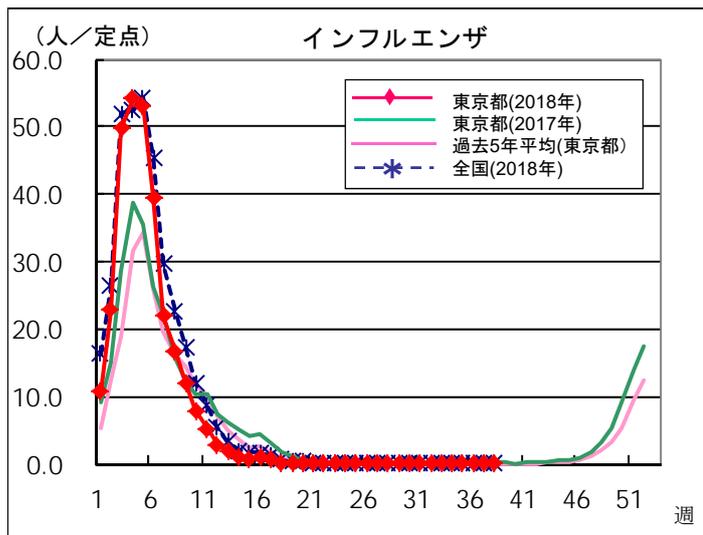
	小児科	インフルエンザ	眼科		基幹					
	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
千代田										
中央区				2						
みなと										
新宿区	2	1				1	1			
文京				2						
台東		20								
墨田区	3						1			
江東区				1						
品川区		3								
目黒区										
大田区		6								
世田谷	4	7				1				1
渋谷区							2			
中野区										
杉並	2									
池袋		1								
北区		2								
荒川区		1		1						
板橋区	3	12		1						
練馬区				1						
足立		8		1						
葛飾区	2	4								
江戸川	1	5								
八王子市	1	1								
町田市	2									
西多摩										
南多摩		8								
多摩立川	2									
多摩府中	1						2			
多摩小平	2					1				
島しょ										

東京都合計	25	79		9		3	6			1
-------	----	----	--	---	--	---	---	--	--	---

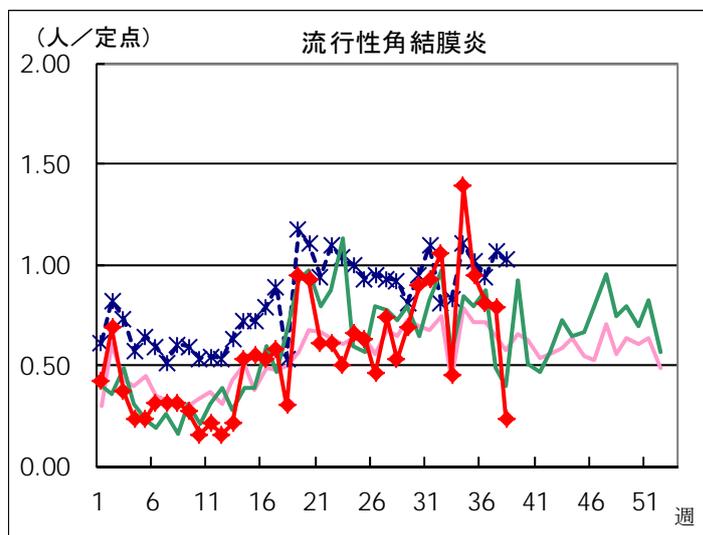
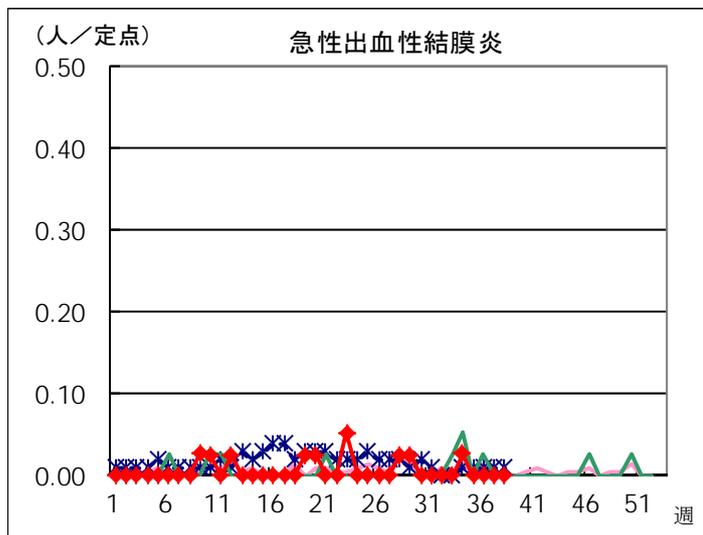




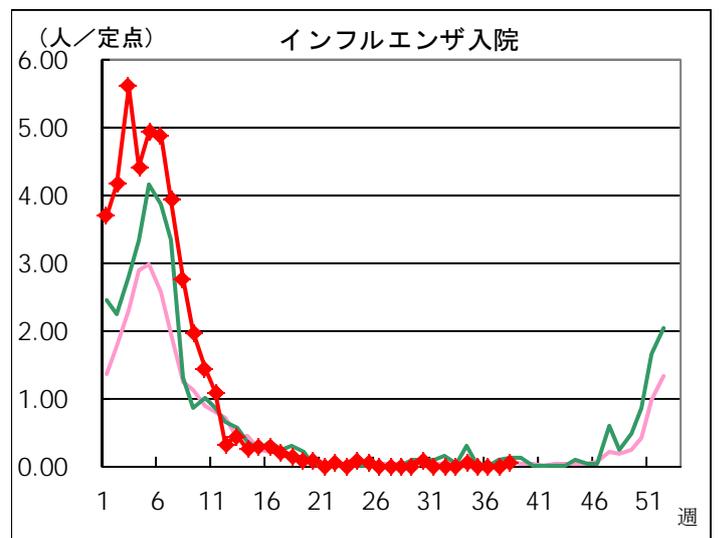
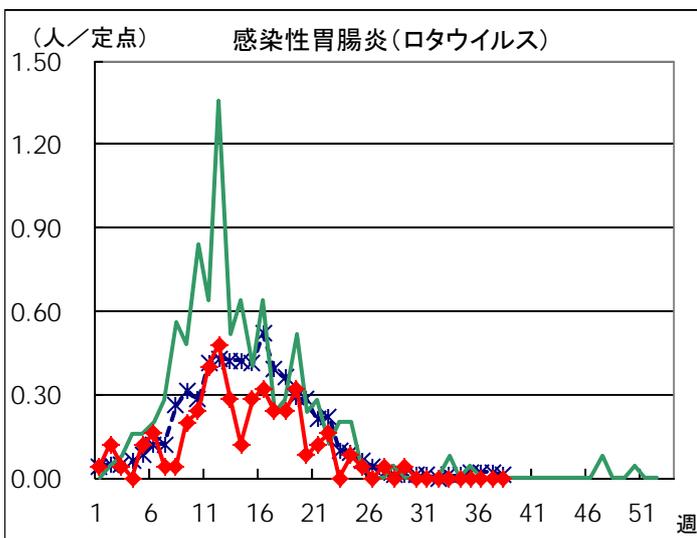
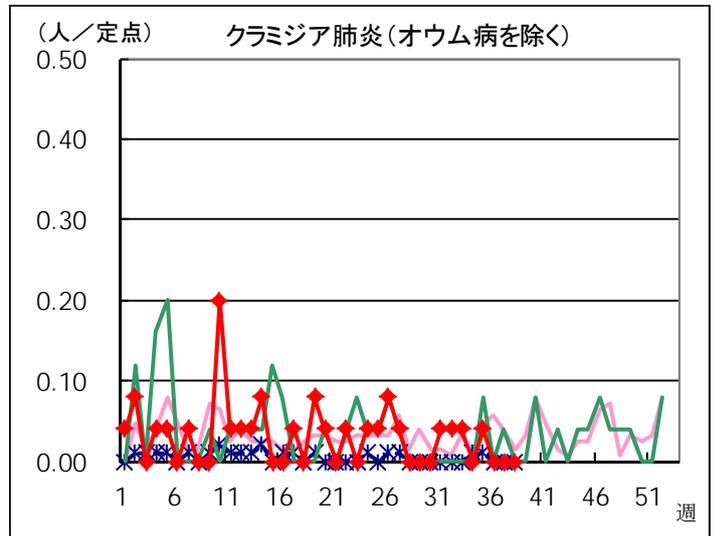
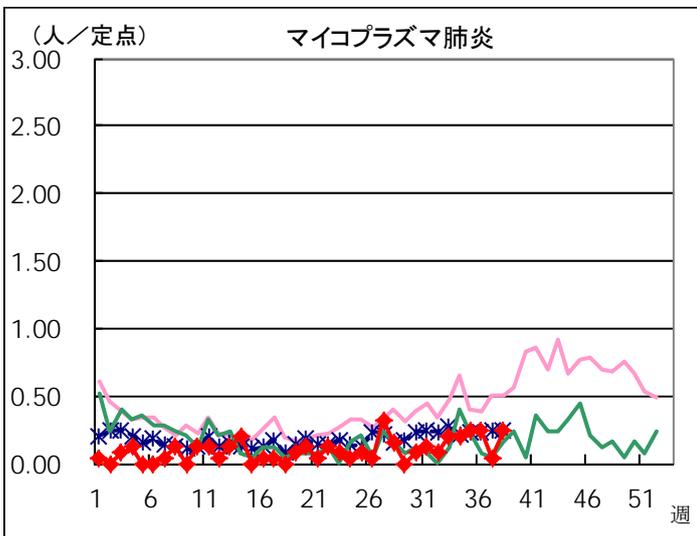
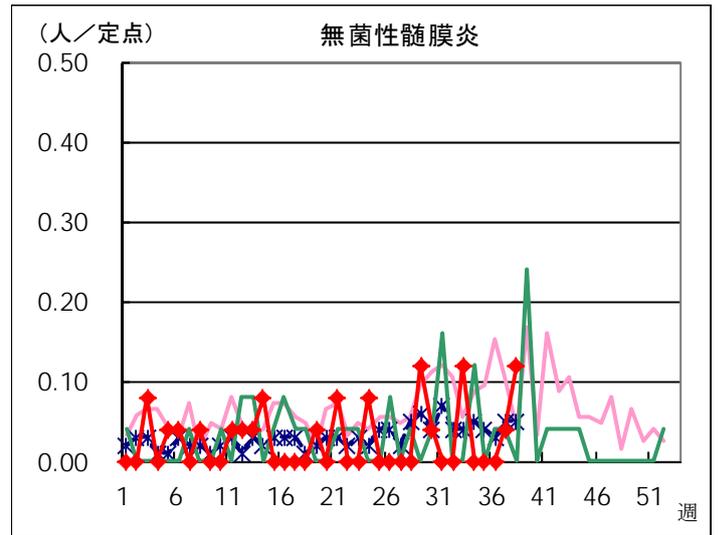
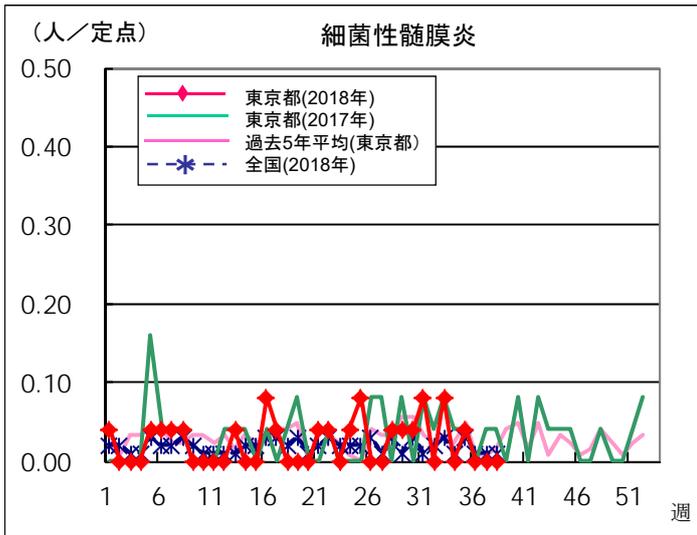
◆ インフルエンザ定点



◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



## 定点医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

採取日	臨床診断名	年齢	検査試料	検出病原体
8/29	ヘルパンギーナ	8M	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群4型
8/29	咽頭結膜熱	1	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群4型
9/1	手足口病	3	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群6型
9/1	不明発しん症	45	咽頭拭い液	ヒトパルボウイルスB19
9/3	RSウイルス感染症	10M	咽頭拭い液	RSウイルスB型
9/3	RSウイルス感染症	11M	咽頭拭い液	RSウイルスB型
9/3	RSウイルス感染症	2	咽頭拭い液	RSウイルスA型
9/3	RSウイルス感染症	2	咽頭拭い液	RSウイルスB型
9/4	RSウイルス感染症	2	咽頭拭い液	RSウイルスA型 コクサッキーウイルスA群4型
9/4	伝染性紅斑	11M	咽頭拭い液	ヒトパルボウイルスB19
9/4	不明発しん症	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス7型
9/5	RSウイルス感染症	1	咽頭拭い液	RSウイルスB型

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数  
36週はインフルエンザウイルスが検出されませんでした。

	AH1pdm09	AH1亜型	AH3亜型	B型
2018年36週				
2018-2019年 シーズン累計*				

\* 2018-2019年シーズンの開始は第36週(2018年9月3日～)

## 病原体検出情報【週別】

検出病原体	2018年							
	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週
アデノウイルス	2	2		1				
コクサッキーウイルスA群	3	9	7	4	3	1	6	4
コクサッキーウイルスB群				2			1	
エコーウイルス				1			1	
エンテロウイルス71				1				
その他のエンテロウイルス			1					
ライノウイルス		1	2					
ヒトメタニューモウイルス								
単純ヘルペスウイルス								
水痘・帯状疱疹ウイルス						1		
ヒトヘルペスウイルス6型・7型	5			1	1		1	1
EBウイルス	2							
サイトメガロウイルス								
ムンプスウイルス								
麻疹ウイルス								
麻疹A型(ワクチンタイプ)								
風疹ウイルス								
風疹1a型(ワクチンタイプ)								
ヒトパルボウイルスB19	2	1		4	1	1	1	2
RSウイルス		3	1	2	1	1	2	6
ノロウイルス								
ロタウイルス								
サポウイルス								
インフルエンザウイルスAH1亜型								
インフルエンザウイルスAH3亜型								
インフルエンザウイルスB型								
インフルエンザウイルスAH1pdm09	1							
その他のウイルス	1	1	2					
A群溶血性レンサ球菌T-1型	1			2	1	1		
A群溶血性レンサ球菌T-3型						1		
A群溶血性レンサ球菌T-4型				1		1		
A群溶血性レンサ球菌T-12型	1			1		1		
A群溶血性レンサ球菌T-25型								
A群溶血性レンサ球菌T-28型						1		
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型						2		
A群溶血性レンサ球菌その他のT型								
A群溶血性レンサ球菌T型別不能	1							
百日咳菌								
肺炎マイコプラズマ								
肺炎クラミジア								
髄膜炎菌								
B群レンサ球菌								
肺炎球菌								
インフルエンザ菌								
黄色ブドウ球菌								
大腸菌								
その他の細菌								
その他の病原体								



## <感染症豆知識>

### 性感染症(STI)の世界の状況(梅毒を中心に)

STIには、抗菌薬による治療が可能な梅毒・淋病・クラミジア・トリコモナス、抗ウイルス剤による治療が可能なB型肝炎・単純ヘルペスウイルス(HSV)・HIV、ワクチンによる予防が可能なB型肝炎・ヒトパピローマウイルスなどがある。早期発見、早期治療、何よりも予防が重要だが、STIに関する認識不足や、自覚症状がはっきりせず気付きにくいことなどから、受診が遅れたり治療が中途半端となり、慢性化・重症化をたどることも稀ではない。また本人の疾病だけではなく、パートナーを通じた感染拡大、母子感染などによる流産・新生児死亡・先天性奇形・発育発達障害などに結びつくことも、STIで注意すべき重要な点である。

WHOは、毎年3億5700万人がクラミジア感染症、淋菌感染症、梅毒、トリコモナス症のいずれかに罹患し、5億人以上がHSVに感染していると推計している。また90万人を超える妊婦が梅毒に感染し、死産を含めて約35万人に有害な出産が生じたとしている。

国内の梅毒は1948年以降大きく減少し、2000年代は年間600~800例程度の報告だったが、2015年は2690例、2016年は4518例、2017年は5770例となった。腸管出血性大腸菌感染症が年間4000例前後の報告であることと比較すると、梅毒は稀な疾患ではなくなってきたことがお分かりいただけると思う。男女ともに増加傾向にあるが、特に20歳代女性の割合が増加している。

海外では欧米諸国、中南米、中国などでの梅毒の増加報告が伝えられている。これらの地域では、特に男性同性愛者でのリスクの高さが指摘されている。アフリカは梅毒患者の多い地域だが、HIV感染リスクに対する懸念から1990~2005年には南部・西部において梅毒発生率が低下していたことが報告されている。

(文責 川崎市健康安全研究所所長 岡部信彦)